

第43期 (2020年3月期) 第3四半期 ビジネスレポート

2019年4月1日 ▶▶▶ 2019年12月31日

AND 株式会社 **エーアンド・デイ**

東京証券取引所市場第一部上場 証券コード：7745

トップメッセージ

Top Message



代表取締役
執行役員社長 **森島 泰信**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第43期第3四半期連結累計期間の事業概況につきましてご報告いたします。

当第3四半期においては、引き続き新製品開発、新規市場の開拓に注力し、お客様や社会における多様なニーズやその変化に対応するとともに、成長分野に対する積極的な開発投資を行うことで、他社との差別化を図ってまいりました。併せて、下期重点施策として①ガバナンス強化による海外子会社の収益改善、②開発効率を意識した研究開発費の抑制、③グローバル調達によるコストダウンの推進、④自動車業界およびタイヤ業界向け計測・制御・シミュレーションシステム (DSPシステム) の受注活動強化、⑤新製品の上市にも取り組みをいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は35,016百万円 (前年同期比3.6%増)、営業利益は1,935百万円 (同82.8%増)、経常利益は1,824百万円 (同91.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は440百万円 (同16.9%減) となりました。

売上高および営業利益、経常利益は前年同期比で増加しており、特に前期 (第42期) に連結子会社化した株式会社ホロンの半導体機器関連の売上が当第3四半期を通して貢献しました。一方、法人税

の増加により親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

各セグメントにつきましては、計測・計量機器事業では、DSPシステムにおいて、自動車メーカーの設備投資見直しの影響等を受けたものの、半導体機器関連が売上の伸長を牽引しました。その結果、計測・計量機器事業の売上高は21,779百万円 (前年同期比5.3%増)、営業利益は1,466百万円 (同37.9%増) となりました。

医療・健康機器事業では、健康機器の国内における売上は減少したものの、米州、カナダ、ロシアで引き続き好調を維持し、全体として前年同期比で増加となりました。一方、売上は増加したものの、販管費の増加により、営業利益は微減となりました。この結果、医療・健康機器事業の売上高は13,237百万円 (前年同期比0.9%増)、営業利益は1,445百万円 (同0.1%減) となりました。

第4四半期では、各セグメントで複数の新製品の上市を予定しています。また、既存の注力製品も営業を強化し、積極的に新たな市場の開拓を図ってまいります。

株主の皆様には、当社グループに変わらずご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

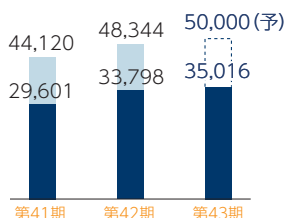
財務ハイライト (連結)

■ 通期
■ 第3四半期累計

Financial highlights

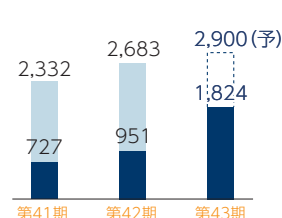
■ 売上高

単位：百万円



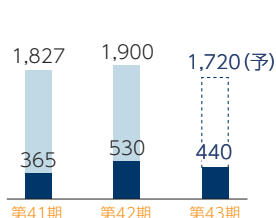
■ 経常利益

単位：百万円



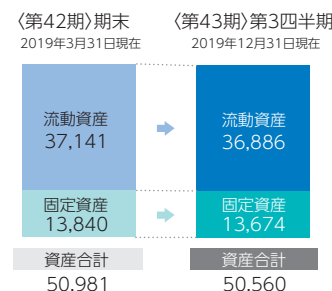
■ 親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益

単位：百万円



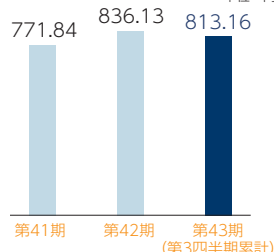
■ 財務状況

単位：百万円



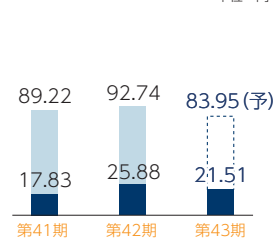
■ 1株当たり純資産

単位：円



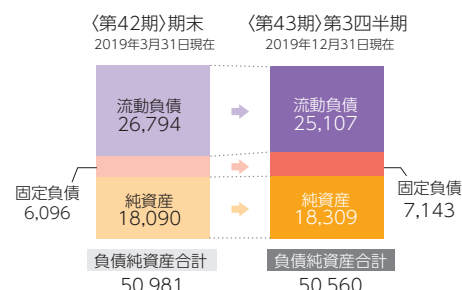
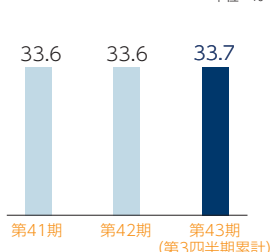
■ 1株当たり四半期 (当期) 純利益

単位：円



■ 自己資本比率

単位：%

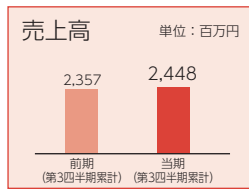


医療・健康機器事業 37.8%

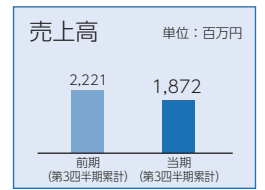
計測・計量機器事業 62.2%

医療機器 7.0%

計測機器 5.3%



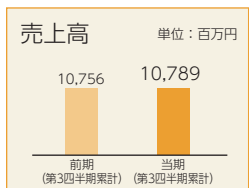
国内は看護用血圧計が好調で利益増に貢献。米州でも看護用血圧計を中心に売上が好調



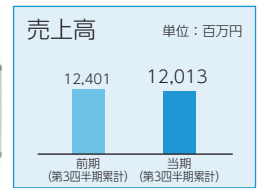
前年同期にあった韓国での試験機の特需が一段落したことから売上が減少

健康機器 30.8%

計量機器 34.3%



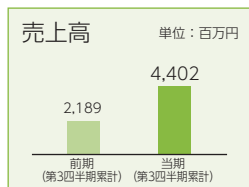
海外でロシアおよび米国、カナダを中心に売上は好調に推移するも、ロシアでの積極的な広告活動による販管費増加のため営業利益は微減



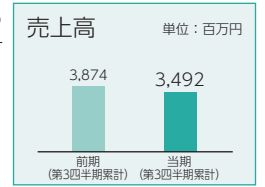
国内は、ウェイトチェッカやX線検査機が売上伸長。海外は、前年同期の豪州での金属検出機・ウェイトチェッカの特需が一段落し、売上・利益とも減少

半導体関連 12.6%

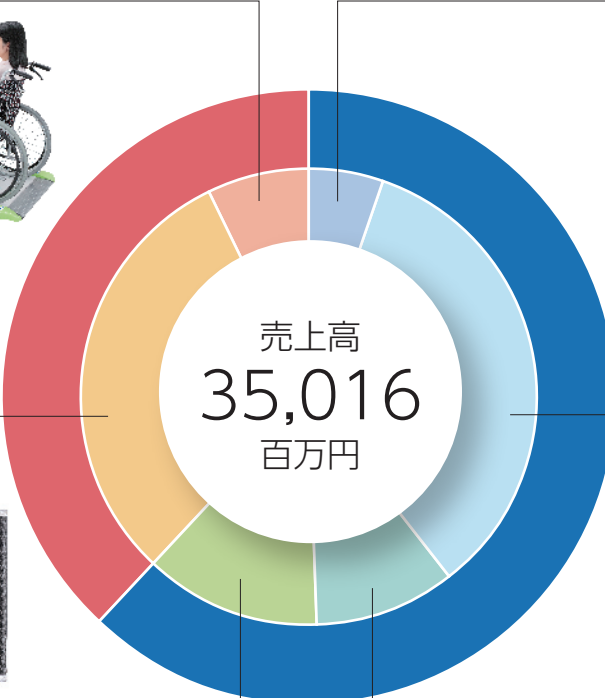
DSP機器 10.0%



半導体機器関連の売上が大幅増



パワートレインベンチ等好調な品目があった一方で全般的に苦戦し、売上は減少



A&Dトピックス

健康総合企業の株式会社タニタ様と医療・健康機器分野で業務提携

当社は、医療・健康機器分野において株式会社タニタ様(以下、タニタ)と業務提携いたしました。

この提携により、当社の強みである血圧計を主体とした医療領域の技術・製品と、タニタの強みである未病・予防領域の技術・製品を相互に活用することで付加価値の高い新製品・新サービスを創出し、両社のヘルスケア事業の拡大を図ります。

具体的には、当社の業務用血圧計をタニタに、タニタの業務用自動身長計付き体組成計を当社にOEM供給(相手先ブランド名での生産)し、ヘルスケア業界で進む構造改革を先取りして市場での競争力を高めるとともに、ユーザーにとって利便性が高い医療・健康機器を提供してまいります。

【今夏発売予定製品】

通信機能付き家庭用体組成計「UC-421BLE」
〔タニタアルゴリズム*を搭載〕



*タニタアルゴリズム: タニタによって国内外の15,000件以上の生体データを収集して開発されたアルゴリズム。
タニタが保有する体組成計測の中核技術です。



左: タニタ 代表取締役社長・谷田 千里氏
右: エー・アンド・デイ 代表取締役 執行役員社長・森島 泰信